

平成21年度決算事業評価シート

1 基礎情報

事業名(実施計画)	CMSによるホームページ公開		予 算 費 目	会計	1	一般会計
事業コード	5-01-04-139			款	2	総務費
政策名	章	計画の推進に向けて		項	1	総務管理費
	節			目	3	広報広聴費
施策名	小節	情報化		細目	10	広報活動事業費
	施策の方向	情報化の推進		細々目	6	市ホームページ管理運営経費
担当部課	企画部秘書広報課	責任者(課長)	朝倉利之	内線	2439	

2 事業概要

事務事業名(業務棚卸評価)	CMSによる市公式ホームページの管理運営	
事業目的	対象 市民・事業者	目的 ホームページ全体の統一感を保ち、ページ作成の事務負担を軽減しながら、利用者が見やすいページ構成とする。
事業内容	既存のホームページの見直し、CMSへの移行作業、職員研修、テスト運用を経て平成22年1月15日よりCMSによる市ホームページを公開する。	
事業を取り巻く環境 (事業に関する市民等のニーズ、国・県等の動向、社会環境等)	<p>○積極的かつタイムリーで、分かりやすく親しみのもてる情報提供が求められている。</p> <p>○住民意識の高まりや価値観の多様化などを背景に、行政に明確な「説明責任」を果たすことが求められている。</p> <p>○社会情勢の変化や価値観の多様化などに伴い、市民の行政への関心が高まり、様々な意見が行政に寄せられている。</p> <p>○現在では、パソコンやインターネットの普及により、様々な手段で広く市民の方々が市の情報入手することが出来るようになってきている。また、情報の管理や発信などを行うシステムも日々変化・進歩している。</p>	
市民参加と協働の活用	未実施	
根拠法令、国の方針・計画等	JIS X 8341-3:2004「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器・ソフトウェア・サービス—第3部:WWWコンテンツ」 総務省「みんなの公共サイト運用モデル」	

3 コスト・財源

事業に係るコスト	直接事業費	財源内訳	20年度(決算)		21年度(決算)		22年度(予算)	
			金額	%	金額	%	金額	%
		国県支出金(千円)						
		地方債(千円)						
		その他(千円)						
		一般財源(千円)			6,223		14,937	
	A 事業費(千円):(予算に対する執行率)			%	6,223	100.0 %	14,937	%
	概算人件費	人件費	常勤職員数	0.70 人		1.66 人		0.81 人
			常勤職員人件費(千円)…①	6,300		14,940		7,290
			非常勤・臨時職員数	0.05 人		0.05 人		0.05 人
			非常勤・臨時職員人件費(千円)…②	50		50		50
	B 人件費(千円)…①+②		6,350		14,990		7,340	
総コスト(千円)…A+B		6,350		21,213		22,277		

4 目標・実績

事業に係る活動の目標及び実績	指標名	単位	20年度		21年度		22年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
	アクセス件数	件	目標	1,500,000	1,500,000	1,500,000		
			実績	1,074,303	1,350,883			
			達成率	71.6 %	90.1 %			
				目標				
				実績				
				達成率	%	%	%	%
			目標					
			実績					
			達成率	%	%	%	%	

5 項目別分析

項目	分析結果	理由
必要性 (市民ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> ①必要性が高い	インターネット利用者の増加、リアルタイムの情報発信の需要が高まっています。
	<input type="checkbox"/> ②どちらかといえば必要性がある	
	<input type="checkbox"/> ③必要性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④必要性はない	
妥当性 (市が行わなければならないか)	<input checked="" type="checkbox"/> ①市が行わないといけない	情報発信の迅速な意思決定、状況に応じた柔軟な対応を行うためには市が担当する必要があります。
	<input type="checkbox"/> ②どちらかといえば市が実施	
	<input type="checkbox"/> ③市が行う必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④市が行う必然性はない	
継続性 (引き続き実施する必要があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> ①継続性が高い	時代背景から、ますます力を入れて取り組まなければならない事業と考えます。
	<input type="checkbox"/> ②どちらかといえば継続性がある	
	<input type="checkbox"/> ③継続性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④継続性はない	
効率性 (より効率的な改善が可能か)	<input type="checkbox"/> ①改善が可能である	非常勤職員の活用など効率化の余地があると考えます。 【費用対効果】統一されたページ構成や強化された検索機能により、見やすく使いやすいホームページとして精度が向上しました。また、ページ作成やリンク切れの管理、アクセシビリティへの配慮など、職員の作業負担がシステム機能により軽減され、更新頻度や利用率の向上につながり、問い合わせの減少により業務効率も高まります。
	<input checked="" type="checkbox"/> ②改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> ③改善の余地が少ない	
	<input type="checkbox"/> ④改善の余地はない	

6 評価

	評価
<p>活動状況(課題も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CMSでは、テンプレートでページを作成するので、作業が容易になるとともに全体的に統一感のあるホームページにすることができた。 ・システム管理によりリンク切れの防止や障害者などにも配慮したページの作成が可能になった。 ・ページの構成をカテゴリーで整理し、検索機能も強化して情報を探しやすい環境とできた。 ・どの職員のパソコンでも作業が可能になり、担当職員の負担を軽減するとともに、更新が容易となった。 ・ページの更新日を指定することも可能となり、タイムリーな情報の発信が可能となった。 ・サーバを外部に設置し、停電や被災時にもホームページを公開できるようにした。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新頻度等は向上したが、職員の意識の持ち方に温度差があることは否めず、継続して啓発する必要がある。 ・検索機能の向上についてさらに研究し、周知を図っていく必要がある。 	A
<p>評価内容</p> <p>リンク切れ 21年7月 1373件 → 移行後 0件 総ページ数 1月15日 5,200ページ → 7月27日 7,842ページ (2,642ページ増) 月平均更新数 21年1月～9月 244件 → 22年1月15日～7月15日 354件 (45%増)</p> <p>事業の方向性 現状維持</p>	